



リビドーと芸術の昇華は 年を追うごとに高みに。

エドツワキ (イラストレーター)

椎名林檎さんと初めてお会いしたのは10年ほど前か。以来、林檎さん、東京事変のショウに足を運んでは、圧倒され続けている。自分の100の目と耳を凝らし、官能の一挙手一投足を追い、場を支配する歌声を浴びる。リビドーと芸術の昇華は年を追うごとに高みにあり、膨大なエナジーを我々の頭からつま先、細胞のひとつひとつにまでくまなく放射し、彼女は去ってゆく。昨年11月のアリーナ、大きな翼を蓄え、ツインの一角嬢を従え、長いストラップでギターを弾き歌う姿。そこで果てたのは自分だけではあるまい。

エドツワキ 1966年広島生まれ。イラストレーター、デザイナー、画家。国内外のモード誌、ブランド、広告等で数多くの女性の肖像を描く傍ら、アパレル、抽象絵画、ライブペインティング、陶芸、文筆など行う。



椎名林檎

福岡出身。98年デビュー。99年の「無罪モラトリウム」、翌年の「勝訴ストリップ」とアルバムが立て続けにミリオンセラーを記録。04～12年はバンド東京事変でも活動。2008年 映画『さくらん』で第31回日本アカデミー賞 優秀音楽賞、2009年 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。複数のアーティストや舞台、映画への楽曲提供も行っている。昨年末開催されたアリーナツアーの模様を収録したDVD&Blu-ray『◎林檎博'14-年女の逆襲-』が好評発売中。

